

元気なひとなかま



塚原 凜さん

(障がいを抱えながら抽象画を描く)
※語り手はお母さんです。

☺障がい乗り越えて

2歳の時にかったインフルエンザ脳症が原因で視力を失い、自閉傾向や多動の症状が残る最重度の知的障がいを抱えました。その後、アメリカの研究所で世界一厳しいといわれるリハビリを3年ほど行うことで視力は回復し、多動傾向もなくなりました。自閉傾向も改善してきたので、学校での社会生活も送ることができました。

☺絵との出会い

養護学校の校外授業の組紐をきっかけに、約2年前から絵を描き始めました。息子が作った組紐を見て「芸術的センスがあるのではないか」と感じたのです。そして絵画教室に通うことを勧めたところ、普段あまり感情を表に出さない息子が「うれしい。」と言い、喜びを表現したのです。教室では型にはまらず自由に思いを込めて、集中して絵を描いています。

今までに約200点ほど絵を描きま

した。作品を仕上げるごとに自信がつき、さまざまな機能も向上しています。描いた絵は絵画教室の絵画展に展示したり、母校に飾ってもらったりしているほか、たくさんの方に見てもらえるようインターネットでも公開しています。障がいがあるとかないとかは関係なく、純粋に息子の「絵」に何かを感じてもらいたいです。

☺もっと広い世界を

「絵」に出会えたことで世界が変わりました。字を書いたり手を動かすのが苦手でしたが、そこが長所になり絵が完成しています。また、最近英会話を習い始めたのですが、絵と同じように集中して取り組んでいます。小さい時から海外に行きたいと言っていたので、その夢も実現してほしいと思います。養護学校卒業後はアーティストとして活動していくつもりです。これからも一緒に楽しみながら成長していけるように、日々歩んでいきます。

ひと・まち・モータースポーツ

～サーキットの外のモータースポーツ～

皆さんは「モータースポーツと言えば鈴鹿サーキット」という印象が強いと思いますが、サーキットでのレース以外にもたくさんの種類のモータースポーツがあります。最近話題の「ラリー」競技は、身近な場所や道路をサーキットのようにして管理し、ナンバープレートの付いた車で個々のタイムを争います。

レースに比べて観戦はもちろん、エントリーやスタッフとしての参加も容易です。全国各地で開催されていますが、

私たちは、いなべ市と菰野町を舞台とする「いなべ福王ラリー」を地元の皆さんや企業のご協力のもと主催しています。残念ながら鈴鹿市では今は開催がありませんが、選手やラリーを運営する仲間は大勢在住。よりたくさんの仲間が集えば、鈴鹿でのラリー開催が実現する日が来るかも。ぜひ「国内ラリー」や「いなべ福王ラリー」で検索してチェックしてみてください。



- 特別寄稿 竜田健(JAF加盟モータースポーツクラブ「トライアルスタッフオン!」代表)
- 監修 鈴鹿モータースポーツ友の会

広報すずか 2016年12月5日号

キーボード

今回の特集は「インターネットと人権」などでした。私が初めてインターネットに接したのは約20年前。学校の授業でした。授業の中で何度もネチケット(ネットワークとエチケットを組み合わせた造語)に気を配るように言われました。

また、文章力を上げるにはインターネット上で日記を公開するのが良いとも言われ、自分のホームページを作ってその日の出来事などを掲載していたときもあり

ました。実際に見に来てくれる人は少数であるものの、見ようと思えば多くの人が見られることから、日記に登場する人への配慮や、自分の情報をどこまで出すかを慎重に考えて公開していました。

現実社会と同じように気を付けなければいけない点が多いインターネットですが、大変便利なツールです。これからも慎重に活用していきたいと思っています。(高)



スマートフォン用
広報すずか

■発行/鈴鹿市 〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号 ☎059-382-1100 (代表)
■編集/政策経営部情報政策課 ☎059-382-9036 ☎059-382-2219
■印刷・制作/指定就労継続支援事業所 八野就労支援センター印刷係
☎059-375-4381 ☎059-340-8810

http://www.city.suzuka.lg.jp/
johoseisaku@city.suzuka.lg.jp

再生紙を使用しています。この冊子は資源ごみの「新聞」に分別してください。